

令和2年度一般会計補正予算 (第8号)	歳入歳出それぞれ8342万円を追加し総額を97億3291万2千円とする。 【主な内容】 ・総合健康センターの空調設備更新費用 6084万7千円 ・とくとつぷ満点カード交換時のプレミアム付与などを支援 1504万円 ・公共施設のトイレ手洗いをセンサー式などに改修 1224万2千円 ・畑の透排水や土壌整備費用を地域農業再生協議会へ補助 309万6千円 ・開町記念式 開町130年記念事業負担金 減額822万8千円 ・ふるさとまつり・雪まつり共催事業 減額453万8千円 ・奈良県・十津川村三者協定PR事業 減額213万円
令和2年度下水道事業特別会計補正予算 (第1号)	一般会計から繰入予定であった事業費を下水道事業債で充当することとなった460万円の財源更正で、歳入歳出総額に変更なし。
財産の取得	新庁舎用の机、椅子、収納庫等 845点 取得価格 4917万円 契約の相手方 株式会社 イースト文具商会
新十津川町過疎地域自立促進市町村計画の変更	新たに「高度無線環境整備推進事業」を加える
新十津川町教育委員会委員の任命	近藤陽介氏の任命に同意（再任）
新十津川町固定資産評価審査委員会委員の選任	天間壽俊氏の選任に同意（再任）
令和元年度決算の認定	認定

意見書

地方公共団体の公益に関することについて、議会の意思をまとめたものであり、国や関係行政庁へ提出する文書です。住民代表の議会として傍観するのではなく、何らかの意思を法的に表明することを目的として法律で認められたものです。今回、議員から提案された次の意見書について審議した結果、すべて原案のとおり可決されました。

- **新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書**
 主旨 コロナ禍により、福祉、医療、教育、地域経済活性化等、喫緊の財政需要をはじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、地方財政はかつてない厳しい状況が予想されるため、万全な措置を要望する。
- **社会資本の整備・維持、総力戦で挑む防災・減災プロジェクト、国土強靱化の促進を求める意見書**
 主旨 近年、豪雨、豪雪、など自然災害が頻発しており、人命、財産を守るために事前から備える防災、減災により国土強靱化を推進することが重要であることから、より一層の推進が図られるよう要望する。
- **林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書**
 主旨 森林は、国土保全、温暖化防止等、多面的機能の発揮が期待されている。よって、森林資源の循環利用により森林を守るとともに林業、木材産業の成長産業化に向けた施策の拡充、強化を強く要望する。
- **種苗法改正案の慎重な審議を求める意見書**
 主旨 農業者が安心して作付できる環境を整えるため、優良種子の安定確保、安価供給に向けた公的機関における研究、開発の維持と地方財政措置の強化は必要不可欠である。よって、種苗法改正案の審議にあたっては慎重に取り扱いされるよう要望する。
- **軽油引取税の課税免除特例措置の継続を求める意見書**
 主旨 当町のスキー場では、雪面整備に使う圧雪車の燃料として軽油を使用している。スキー場の経営維持に軽油引取税の免税措置は不可欠なものであるため、課税免除措置の継続を強く求める。